

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (頭頸部ユニット)
Ⅲ. 医学および関連領域の知識と応用		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。		
1	<p>人体の構造と機能</p> <p>○耳鼻咽喉科</p> <p>1) 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。</p> <p>3) 鼻腔の構造を図示できる。</p> <p>12) 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。</p> <p>13) 平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。</p> <p>18) 喉頭の構造を図示でき、喉頭の機能と神経支配を説明できる。</p> <p>23) 咽頭の構造を図示できる。</p> <p>24) 味覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。</p>	<p>基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)</p> <p style="text-align: center;">B</p>
4	<p>病因と病態</p> <p>○耳鼻咽喉科</p> <p>以下の疾患の病因・病態を説明できる</p> <p>①滲出性中耳炎、急性中耳炎、慢性中耳炎、②副鼻腔炎、③扁桃の炎症性疾患、④顔面神経麻痺、⑤めまい、⑥嗄声、⑦咽頭痛・開口障害をきたす疾患、⑧難聴</p> <p>6) アレルギー性鼻炎の発症機構を説明できる。</p> <p>7) 上気道の感染症と上気道の免疫機構について説明できる。</p> <p>9) 外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物を説明できる。</p> <p>10) 顔面・頸部外傷の症候を説明できる。</p> <p>19) 嗄声をきたす疾患を列挙できる。</p> <p>26) 咽頭痛・開口障害をきたす疾患を列挙できる。</p> <p>27) 唾液腺疾患を列挙できる。</p> <p>28) 小児に特有な耳鼻咽喉科疾患について列挙できる。</p> <p>29) 音声言語障害および聴力障害を起こす疾患の主要徴候、必要な検査、診断基準、治療法の概略を学習する。</p> <p>31) 難聴をきたす疾患を列挙できる。</p> <p>33) 鼻腔・副鼻腔、口腔、咽頭の悪性腫瘍を概説できる。</p> <p>34) 喉頭癌の症候を説明できる。</p> <p>○歯口科</p> <p>1) 口腔領域の各疾患の概念、病因、病態を系統的に述べることができる。</p>	
Ⅳ. 診療の実践		

ユニットコンピテンス	卒業コンピテンスに対する達成レベル (頭頸部ユニット)
<p>千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者・生活者を尊重し、安全で質の高い診療を実施するために、以下のことが適切に実施できる。</p>	
<p>6 検査の必要性を判断し、検査結果を解釈できる。</p> <p>○耳鼻咽喉科</p> <p>以下の疾患の診断を説明できる</p> <p>①滲出性中耳炎，急性中耳炎，慢性中耳炎，②顔面・頸部外傷， ③顔面神経麻痺，④めまい，⑤嚥下困難・障害，⑥喉頭癌</p> <p>4) 鼻出血の好発部位と止血法を説明できる。</p> <p>14) 平衡機能検査を説明できる。</p> <p>25) 味覚・嗅覚検査を説明できる。</p> <p>29) 音声言語障害および聴力障害を起こす疾患の主要徴候，必要な検査，診断基準，治療法の概略を学習する。</p> <p>30) 聴力検査を説明できる。</p> <p>32) 伝音難聴と感音難聴，迷路性と中枢性難聴を病態から鑑別し，治療を説明できる。</p> <p>○歯口科</p> <p>2) 疾患の診断要点と必要な検査法があげられる。</p> <p>3) 歯科・口腔領域特有の検査法の内容を説明できる。</p>	<p>基盤となる知識の修得が単位認定の要件である (Basic)</p> <p style="text-align: center;">C</p>
<p>7 治療計画を提案できる。</p> <p>○耳鼻咽喉科</p> <p>以下の疾患の治療を説明できる</p> <p>①滲出性中耳炎，急性中耳炎，慢性中耳炎，②副鼻腔炎，③扁桃の炎症性疾患，④顔面神経麻痺，⑤末梢性めまい，中枢性めまい， ⑥音声言語障害および聴力障害を起こす疾患，⑦伝音難聴と感音難聴，迷路性と中枢性難聴，⑧喉頭癌</p> <p>4) 鼻出血の好発部位と止血法を説明できる。</p> <p>9) 外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物を説明し，除去法を説明できる。</p> <p>20) 気管切開の適応を説明できる。</p> <p>○歯口科</p> <p>4) 各種疾患に対応した治療法を述べることができる。</p>	